

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	38	事業名	文化・文化財事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 文化財保護法、長久手市文化財保護条例、古戦場公園再整備基本計画			9-4-6 文化財費	
	事業開始の背景、経緯等	・昭和25年に文化財保護法が制定され、本市においても昭和52年に長久手市文化財保護条例を制定し、文化財の保存及び活用を図っている。 ・平成28年に策定した古戦場公園再整備計画にて、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるのために古戦場公園内に歴史民俗体験施設を整備することになった。 (両者と協働不可の場合はその理由)				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・市民共有の財産である文化財を保存、継承するとともに、地域の活性化に向けて積極的に活用する。 ・市内に現存する古民家の再利用可能な部材を使用し、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるために、古戦場公園に歴史民俗体験施設を建設する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 指定文化財
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・文化財の保存、継承及び活用を行う。 ・歴史民俗体験施設でこの地域のくらしや歴史文化を後世に伝える。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	23,802	23,929	38,889	47,701	33,637
		決算	22,368	21,396	25,849	34,986	
人件費(B)	千円	決算	5,041	6,074	4,401	6,326	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	27,409	27,470	30,250	41,312	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	件		21	21	21	21	21
対象あたりコスト(C/D)	千円		1,305	1,308	1,440	1,967	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
文化財の新規指定件数	件	目標	—	—	—	—	0
		実績	—	—	—	0	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
文化財の指定を行うことにより、文化財の保護及び活用を行いやすくなるため。			現在国、県、市指定文化財が21件あり、令和3年度にかけて1件指定を増やす。				
(前年までと変更した場合はその理由)			指定文化財の件数を増やすことにより、文化財のさらなる保護及び活用を目指していくため。				

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 現在国、県、市指定文化財が21件指定されているが、平成24年度に「丁字田1号窯・市が洞1号窯出土刻銘須恵器」を文化財指定して以降新規の文化財指定を行うことができていない。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 新規指定に向けて、長久手市郷土資料室の所蔵資料の確認を行った。
	改善ポイント	町史編さんから約30年経過しており、各文化財の所在、所有者等を把握するための調査が必要。

事業を構成する事務事業①	文化財事務事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	—	100	500	500	500
			実績	—				
(2)	【アクションプラン】 整備する古民家の棟数	棟	見込	—	—	—	1	—
			実績	—				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> ・歴史民俗体験施設で使用する古民家の詳細調査を行い、当該古民家の再利用可能な部材の確認を行った。 ・市民参加延べ人数は、ワークショップ延べ参加者数とする。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、通常より低く想定している。(古戦場再整備事業と共通事項ため、古戦場公園再整備事業記載の人数と同一としている。)							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	文化財事務事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	文化財事務事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民に、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) ・文化財の新規指定を2か年に1件行う。 ・令和2年度に歴史民俗体験施設の基本設計を実施し、それに基づき歴史民俗体験施設の実施設計及び整備工事を行う。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・歴史民俗体験施設の整備については、特定財源の確保に努めてください。
内部意見への回答	